



那覇新港に係留中の〈新世丸〉。海洋調査のほか、事故に遭った船舶の曳航や海難救助など、幅広いシーンで活躍している船舶だ

「ニューベック (new pec)」は、小型船舶の使い勝手に特化して作られた航海用電子参考図だ。紙の海図は、どうしても大型船舶の利用をベースに作られているため、小型船舶が必要とする情報が完全には網羅されていないという実情があった。例えば、大型船舶は喫水も深く、一定の水深以下の情報はあまり必要としない。しかし、プレジャーボートなど小型船舶の場合は、10m以下の細かな水深のデータはなくてはならない情報だ。また、大型船舶が入らないような小さな港湾や入り江などの情報は、紙の海図だけ

ではカバーできるものではない。そういったニーズに応じて誕生したニューベックは、①全てのエリアを1/5,000まで拡大可能、②2m / 5m / 10mの等深線データを収載、③定置網などの漁具や航路標識も表示できる、など、小型船舶が安心してナビゲーションを行うための情報が満載だ。船用機器メーカーのマップデータとしても導入が進み、より多くのユーザーがニューベックを利用できる環境が整うなか、これまでとは異なる分野のユーザーからも注目を集めている。

# 業務船の世界にも導入が進む 信頼のツール「ニューベック」 曳航や海洋調査を行う〈新世丸〉の場合

## 広がる ニューベック ファミリー

(一財)日本水路協会が発行する航海用電子参考図「ニューベック」。各種船用機器のマップデータとして導入されるほか、スマホ&タブレット向けアプリも登場し、「ニューベックファミリー」として多くのユーザーに認知されている。そんななか、内航船など、業務船の世界にも導入が進んでいる。海洋調査や海難救助に活躍する〈新世丸〉を訪ねた。



左：出倉佑樹さんにお話し、航海中のイメージでブリッジに立ってもらった。左手で操作しているのが、ニューベック搭載のGPSプロッター（日本無線JLZ-1000）  
右：日本無線の「JLZ-1000」。ニューベックのデータを間引きすることなく全て収載し、スムーズな動作性を実現。ディスプレイのサイズも、10インチから大型の26インチまで、豊富なバリエーションがそろった（問）日本無線（TEL: 03-6832-1821）

今回お邪魔したのは、深田サルベージ建設が所有する〈新世丸〉だ。全長51m、総トン数697トンという大きな船舶で、事故に遭った船舶の曳航など海難救助、海洋調査など、幅広い業務を行っている。同艇では、昨年の秋にニューベックを搭載したGPSプロッター（日本無線JLZ-1000）を導入。沖縄本島の那覇新港に寄港中の〈新世丸〉を訪ね、三等航海士の出倉佑樹さんに話を伺った。

「ブリッジをご覧になっていただくとわかるように、さまざまな航海機器を搭載しています。大型のレーダーを2基、GPSプロッター、AIS、魚探、風向風速計、潮流計、カメラなど、さまざまな機器を使っていますが、あくまでもナビゲーションの基本は紙の海図。出航前には、紙の海図の上で航海計画を立て、実際に海に出たら、これらの機器を活用しながら、紙の海図をベースに船を運航していきます」

いったん出航するとだいたい2週間、長いときには1カ月近くも海の上にいるという。そんなプロフェッショナルたちは、もともとは小型船舶向けに作られたニューベックのデータを、どのように感じているのだろうか。

「紙の海図は基本中の基本なのですが、実際に走っているときには、GPSプロッターは大変役に立ちます。自分が今どこにいるかを常に把握できるという意味で、ナビゲーションを補助する役割は大きい。AIS情報も重ねて表示ができますし、航跡や錨泊した場所のデータを保存しておけるのも重要です」

あくまでも紙の海図をメインにし、サブ的に

GPSプロッターを活用。そのマップデータであるニューベックならではの情報量が、より安全につながると考えていい。

「チャートがない（大縮尺のチャートがない）場所に行くことも、ないとはいえません。ニューベックには、これだけ細かな等深線データが出ているのは便利です。錨泊をすることも多いのですが、出ているデータと実際の数字を比べても、これまでにおかしなところはありませんでした。沖縄本島の小さな入り江に、大きな定置網が設置されている場所があるんですが、ちゃんとデータに表示されていましたね」

まだ実航海で使ってから日が浅いとはいえ、データ内容の正確さを実感しているという。紙の海図と併せて使うことで、より安全な航海が実現することは間違いない。プロの船舶にも導入が進んでいるという事実は、何よりもニューベックの信頼度を証明している証左といえるだろう。



上：慣れた手つきでチャートワークを行う出倉さん。毎週金曜日に海上保安庁から発表される水路通報をもとに、海図に更新情報を反映させる「改補」は、出倉さんの重要な任務だ  
下：〈新世丸〉は、海洋調査用の無人探査機（ROV）「はくよう3000」を搭載している。〈新世丸〉自体の運航に加えて、調査をする際には、ROVにも専任のオペレーションスタッフがつかう

### 日本水路協会の海図ネットショップが より便利になってリニューアル!

ニューベックを発行する（一財）日本水路協会のネットショップが、7月にリニューアルした。海図はもちろんのこと、ニューベックやYチャート、Sガイドといった航海用参考図、水路誌などをオンラインで注文できるとあって、従来から多くのユーザーに利用されていたが、今回のリニューアルではデザイン性と使い勝手が大幅に向上。より見やすく、そして使いやすくなった。例えば、欲しい海図を絞りこみたい場合にも、キーワードのほか、縮尺で検索したりもできるので、大変使いやすい。もちろん、スマホ（スマートフォン）にも対応。より便利になった日本水路協会のネットショップ、まずは一度アクセスしてみてください。



航海用電子参考図「new pec」

JHA (一財) 日本水路協会

ニューベックファミリー

